

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-3-2		事業名	携帯電話等からの119番通報時の位置情報通知システムの導入			
担当	消防局警防部指令課 下橋 215-2080						
全体計画							
事業内容	第3世代以降の携帯電話を対象に、通報者本人が具合が悪く会話できない場合や地理不案内などの理由で通報住所を伝えられない事案に対して、発信場所を迅速に特定するシステムを構築し、既存の消防指令システムと連動することにより、救急車及び消防車を早期に出動させ、指令体制の強化を図る。			<年度別の事業内容>			
				【平成19年度】 携帯電話等からの119番通報時の位置情報システムの導入 【平成20年度以降】 保守管理を実施			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	携帯電話等から119番通報された際、携帯電話基地局や人工衛星などを利用して、おおよその発信位置を特定し、速やかに消防車や救急車を出動させるシステムを導入した。			保守管理を実施する。			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
位置情報通知システムの導入		-	導入	/	/	/	導入 (19年度)
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり</p>							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	4-3-2			事業名	携帯電話等からの119番通報時の位置情報通知システムの導入		
評価(成果)			課題				
119番通報時、具合が悪くて話をすることができなかつたり、地理不案内で今いる場所が分からない場合や、山菜採りなど山間部で行方不明になった時、位置情報通知システムに表示される情報により、場所の特定に効果が期待できる。			携帯電話位置情報システムは、携帯電話の機種またはGPS機能の有無によって発信位置情報に誤差が生じるため、可能な限り目標になる建物情報等を聞き取り、住所を特定しなければならない。				
今後の事業の予定・方向							
システムの問題点・改良点を洗い出し、より効果的なシステムにしていくとともに、位置情報通知システムを活用して行う、指令員の迅速・確実な聞き取り要領を練成していく必要がある。							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	47,000	0	0	0	47,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0
		市債	42,000	0	0	0	42,000
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	5,000	0	0	0	5,000
予算	事業費	47,000	0	-	-	47,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0
		市債	42,000	0			42,000
		その他	0	0			0
		一般財源	5,000	0			5,000
実績	事業費	30,658	-	-	-	30,658	
	財源内訳	国・道支出金	0				0
		市債	27,000				27,000
		その他	0				0
		一般財源	3,658				3,658
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				65.2%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度] 計画通り予算化、事業を実施。							
[20年度]							